

平成19年度の地域密着型金融の推進に関する取組状況

項 目	取組み内容	成果
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化		
◎創業・新事業支援		
○群馬キャピタル2号投資事業有限責任組合を活用した新規性・成長性のあるベンチャー企業等への投資の実施	○将来性のある案件の発掘・育成のための体制整備・強化 ・営業店訪問および個別企業訪問による各種投融資情報の発掘 ・営業店担当者との帯同訪問により企業の事業を把握し資金調達のニーズに対応 ・営業店からの情報収集力を高めるためファンド情報の取上げについてインセンティブを付与	○投資実績 ・4社/120百万円 累計 14社/233百万円 ○創業・新事業支援融資 ・10件/1,306百万円 ○株式上場実績 ・19年度は実績なし 累計 1社/30百万円 ○株式上場準備中 ・2社/31百万円
○定期的な地域ベンチャー支援センターとの情報交換に基づく、新規開業・創業のための融資実行	○地域ベンチャー支援センターを含む営業エリア内で創業支援等を行っている機関に対し、情報収集を図る目的で随時訪問を実施 ○群馬県、(財)群馬県産業支援機構および群馬キャピタル(株)との定期的な情報交換会を実施	○「ぐんぎん産学官ビジネス交流会」で群馬県をはじめ大学や企業支援機関の出展が図れ、展示・商談会を通じ産学官と企業との情報交換の場を提供し、取引深耕のきっかけづくりができた ○産学官連携協定を締結している機関の研究開発事業等の情報交換を実施した
○医療・食品・農業等有望分野への業種別担当設置による有望企業の発掘・育成	○有望業種分野 ・専担者配置(医療3名、環境2名、食品農業1名) ・専門知識を活かし取引先の支援及び新規取引先の開拓・開発型案件の発掘と情報収集力の強化 ○主な支援内容 ・診療所の開業支援 ・病院・診療所の介護分野進出支援 ・介護事業者の創業支援 ・畜産業者の新分野進出支援 ・電力会社向けプロジェクトファイナンス(ハイドロ発電)プロジェクトの検証開始	○診療所開業資金 35件/33億円 ○介護施設設備資金 25件/18億円 ○酪農業者の人口受精卵販売事業進出を支援(融資総額30百万円) ○総投資予定額64億円のハイドロ発電プロジェクト推進中
◎経営改善支援		
○経営改善計画の作成指導や、当行ネット網を活用した販路開拓などの経営改善支援の実施	○取引先のランクアップ推進 ○取引先のモニタリング強化 ○販路拡大に対する顧客ニーズに沿ったソリューションビジネスの提供	○債務者のランクアップ ・対象先382先に対し、68先のランクアップを達成 ○債務者の中間管理強化策を実施 ・格付・自己査定に関する管理体制の強化 ・要注意先以下にランクダウンした先の管理強化 ・正常先の月次業績管理強化 ○販路拡大を希望する取引先のビジネスマッチング契約への誘導 ・ビジネスマッチング成約 22先

項 目		取組み内容	成果
	◎事業再生		
	○中小企業再生支援協議会やぐんま企業再生ファンド、DES、RCC再生スキーム等の手法を活用した事業再生への取組	○様々な手法に対応できるよう、外部機関との連携や研究を深めていく ○再生支援実績等の情報開示については、取引先の風評リスク等に留意し、慎重に対応	○中小企業再生支援協議会の活用による企業再生を実施（1件／125百万円） ○「ぐんま企業再生ファンド」の活用による企業再生を実施（1件／1,334百万円） ○RCC再生スキーム活用による企業再生を実施（2件／3,915百万円）
	◎事業承継		
	○自社株評価の査定をはじめ、M&Aや新規株式公開等幅広い支援の実施	○当行本支店を通じた事業承継ニーズの発掘と情報収集 ○支店単位・エリア単位で「事業承継セミナー」を開催し事業承継・自社株対策・資本政策等について、経営者層を啓蒙（前橋・高崎・太田・伊勢崎・大宮他11会場） ○営業店担当者との帯同訪問による、的確なニーズ把握と取引先に合った提案・アドバイス	○事業承継ニーズの情報収集と関連実績 ・自社株評価実施件数 815先 ・個別相談、個別コンサル件数 252先 ・M&Aの取扱い 3件
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
	◎担保・保証に過度に依存しない融資等への取組		
	○債務者格付やスコアリングモデルに基づく無担保・第三者保証不要の融資や、動産・債権譲渡担保融資への取組	○債務者格付やスコアリングモデルに基づく融資や債権譲渡担保融資（保証協会制度融資）の推進 ○動産担保融資やノンリコースローン等、資金調達手段の多様化に向けた研究を進める	○債務者格付やスコアリングモデルに基づく融資 656件／6,990百万円 ○債権譲渡担保融資 50件／309百万円 ○ノンリコースローン 2件／1,162百万円
	○中小企業の資金調達手法多様化への対応としてのシンジケートローン等への取組	○当行1行で対応できない設備投資等の大型融資案件に対し、シンジケートローンを利用した資金調達手段を積極推進し、中小企業の投資資金調達手段の多様化を提案	○組成件数 13件 ○組成総額 169億円
	◎企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等人材育成への取組み		
	○「スキル認定制度」の活用による事業価値を見極める融資の実践できる人材の育成	○自己啓発によりスキルを習得する「スキル認定制度」の対象に「審査」と「法人営業」を制定し、行員の積極的な認定取得を促す ○「スキル認定制度」の認定結果を人員配置や行内外の研修派遣に活用	○スキル認定状況 ・審査 上級55名 中級100名 初級52名 ・法人営業 上級44名 中級149名 ○行外研修派遣の一部を従来の指名制から認定者を前提とした公募制に変更し、認定取得への意欲を向上させた（対象研修：3講座、研修派遣者8名） ○審査、法人営業の認定取得者を法人推進店舗へ重点的に配置
	○行内外の研修による、事業価値を見極める融資の実践できる人材の育成	○総合職は、入行後7ヶ月目から最低1年間融資係に配属し業務を経験させるとともに、融資スキルアップ研修を実施し融資業務の基礎を習得 ○融資役席の審査能力強化のため、外部講師招聘による研修を新設（融資レベルアップ研修） ○地銀協研修への派遣を行い、専門分野の能力開発・コンサルティング能力養成を実施 ○社会生産性本部などへの行外研修派遣を行い、企業の将来性や技術力を評価できる人材を育成 ○中小企業診断士1次試験対策セミナーの実施	○融資スキルアップ研修 269名受講 ○融資レベルアップ研修 108名受講 ○企業調査講習会 18名受講 ○地銀協研修への派遣 41名受講 ○社会経済生産性本部への派遣 2名派遣 ○中小企業診断士1次試験対策セミナー（19年9月～20年6月まで毎月1回開催） 68名受講中

項 目	取組み内容	成果
3. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献		
◎地域活性化につながる多様なサービスの提供		
○個々の取引先企業のニーズに対応した迅速かつ有効な情報の提供や様々な業種に対応した展示・商談会の実施等、各種イベントの開催	○各種展示・商談会の実施 ・広域関東圏産業活性化センター主催の地銀3行（群馬・千葉・山梨中央）によるビジネスマッチング開催（3社出展） ・香港地銀会による合同ビジネス交流会のサポート（10社出展） ・「東京ビジネスサミット2007」へ当行の専用ゾーン（17社）出展 ・地銀8行共催「フードセレクション2007」の開催（20社出展） ・「ぐんぎん産学官ビジネス交流会」主催（91社出展） ○県主催の「ぐんま企業立地セミナー2008inTokyo」への協力	○各種展示・商談会の全般的な取組により、下記成果が得られた ・当行のイベント開催・参加により、金融以外の企業支援機能を地域にアピールできた ※「ぐんぎん産学官ビジネス交流会」は当行初のものづくり系イベントで、出展業者：91社、仕入業者：61社、来場者：約1000名、商談数：約500件の実績が得られた ・本業支援の提供により、顧客満足度の向上が図れた ・イベント参加企業と当行双方の利益に貢献するビジネスモデルが確立できた ○県や工業団体に対し、地域振興への貢献をアピールすることができた。
○「お客さまご意見カード」や「利用者アンケート調査」による意見収集の継続実施とお客さまのニーズに対応した様々な金融サービスの提供および利便性の向上	○接客対応等をビデオ撮影した上で、店内全員の勉強会の実施（ビデオ臨店勉強会） ○改善状況チェックのための「フォローアップアンケート」の実施 ○「お客さまご案内係」の配置 ○「マナー接遇研修」「マナー接遇フォローアップ研修」の実施 ○個人／5000先、法人／2000先を対象とした、第2回顧客アンケートの実施（20年2月～3月） ○コンビニATM利用手数料の無料化 ○個人向け金融情報番組「グッドライフマガジン」の放送開始	○「ビデオ臨店勉強会」実施 137か店 ○「フォローアップアンケート」実施 113か店 ○「お客さまご案内係」の配置 41か店（47名） ○「マナー接遇研修」受講 1,056名 「マナー接遇フォローアップ研修」受講 483名 ○顧客アンケート結果を、20年度以降の施策に反映 ○全体の施策を通し、お客さまからの「お褒めの手紙」の増加や「フォローアップアンケート」での好評価が得られる等の効果が出ている ○個人のお客さまにとって関心の高い資産運用、資産形成などをテーマに、分かりやすくお役に立つ金融情報が提供可能となった
○地公体等との情報交換や勉強会を通じたPFI事象の浸透や公共事業へのPFIの活用支援など、地域活性化への取組	○公共施設の建替え計画において、群馬県とPFI等を含めた資金調達手法について情報交換を実施 ○群馬県内のバイオマス発電所建設事業において、プロジェクトファイナンス形態での資金調達手法に取組	○群馬県内におけるPFI導入の動きなし ○群馬県内の産廃業者が燃料供給業務において中心的な役割を担うバイオマス発電事業のプロジェクトファイナンスに関し、事業をサポートしていく